R246シリーズ

販売用資料
2026年11月

ラップ型ファンドプレミアム
（安定型プラス）/（安定成長型プラス）
追加型投信/内外/資産複合

愛称：プレミアムバランス
（安定型プラス）/（安定成長型プラス）

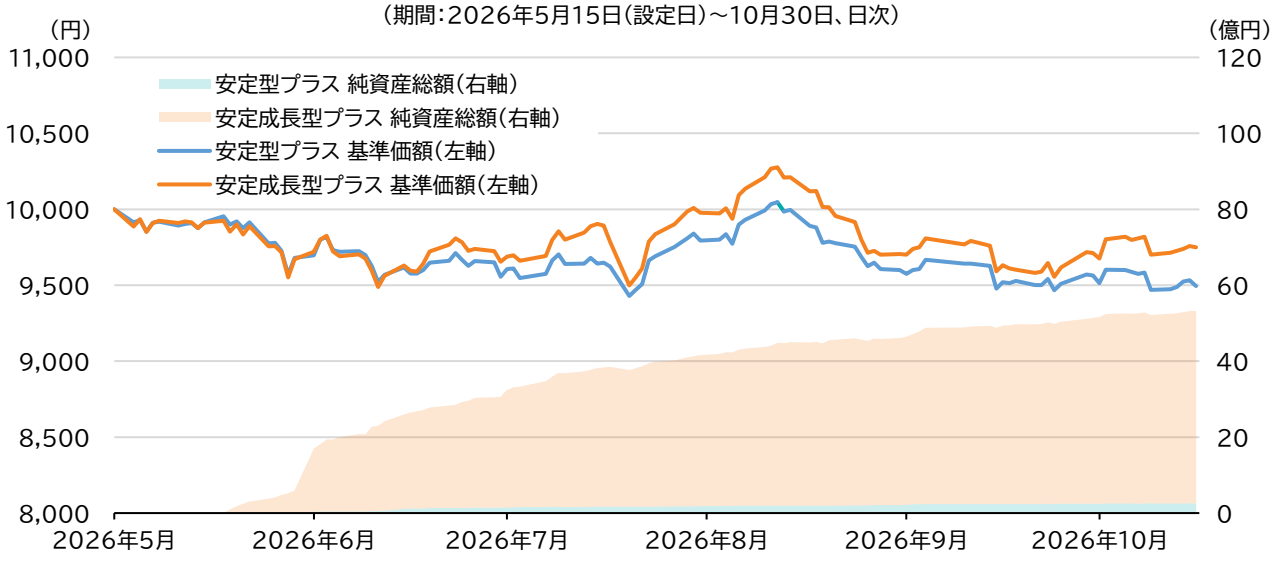
設定来の運用状況等について

当レポートでお伝えしたいこと

- ラップ型ファンドプレミアム（安定型プラス）/（安定成長型プラス）【愛称：プレミアムバランス】の設定来の運用状況とマーケット動向振り返り
- 資産配分について/今後の運用方針
- 【ご参考】プレミアムバランスの魅力を再発見！
  ＜金＞の組み入れについて/りそなラップ型ファンド【愛称：R246】との比較

＜各ファンドの設定来の基準価額と純資産総額の推移＞

（期間：2026年5月15日（設定日）～10月30日、日次）



＜各ファンドの2026年10月末の状況＞

	基準価額（円）	純資産総額（億円）	設定来騰落率
安定型プラス	9,495	2.5	-5.1%
安定成長型プラス	9,749	50.7	-2.5%

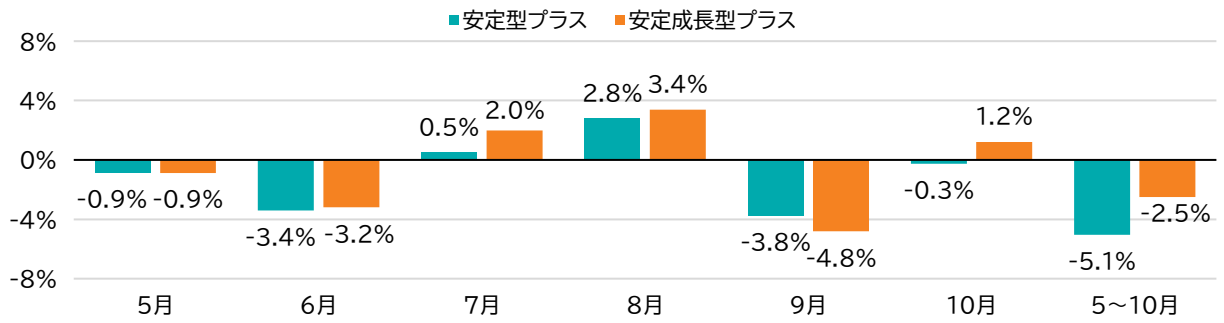
※ 設定来の基準価額の騰落率は当初設定価額（10,000円）を起点として算出しています。
※ 基準価額（1万口当たり）は、運用管理費用（信託報酬）控除後のものです。騰落率は各ファンドの「分配金再投資基準価額」を用いて算出しています。
※ 上記はあくまで過去の実績であり、将来の投資成果を示唆・保証するものではありません。

設定来の運用状況とマーケット動向振り返り

- 当ファンドの設定来の基準価額の騰落率は、安定型プラスが-5.1%、安定成長型プラスが-2.5%となりました。
- 同期間の債券市場では、米国でのインフレの高止まり等を背景とした約3年ぶりの利上げ決定を受け、金利上昇圧力が高まりました。日本でも9月に約3ヵ月ぶりの利上げが決定され、利上げ観測の高まり等から、10年国債利回りは一時3%を超えました。このように金利上昇（債券価格は下落）圧力が高まる状況は、債券市場にとっては逆風の環境下でしたが、当ファンドに組み入れている円建公社債についてはクーポン収入が主な要因となり、ファンドのパフォーマンスにプラスに寄与しました。
- 同期間の株式市場においては、期初、米国ではAI（人工知能）・半導体関連株への期待等を背景に上昇基調が続き、日本でも日経平均株価は7万2000円台まで上昇しました。その後はAI・半導体関連株の急落、中東情勢への警戒等から不安定な動きとなり、世界的に銘柄・業種間で選別色が強まりました。当ファンドに組み入れている高配当株式指数への連動を目指すマザーファンドについては、先進国は8.9%、国内は8.1%上昇し、ファンドのパフォーマンスにプラスに寄与しました。
- 同期間の金価格については、米国の利上げ観測の高まり等を背景とした金利上昇や米ドル高の進行に加え、金価格が史上最高値圏で推移する中で利益確定売りが強まったこと等から調整局面が続きました。当ファンドに組み入れているマザーファンドについても14.1%下落し、ファンドのパフォーマンスにマイナスに作用しました。

＜各ファンドの月間騰落率＞

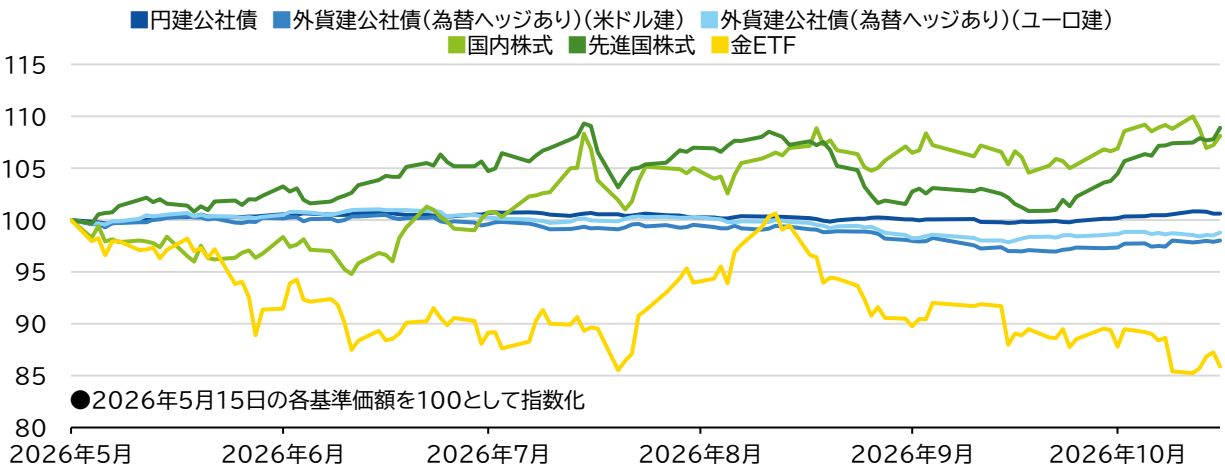
（期間：2026年5月～10月）



※　2026年5月の騰落率は、各ファンドの設定日である2026年5月15日の当初設定価額（10,000円）を起点として算出しています。
※　騰落率は運用管理費用（信託報酬）控除後の各ファンドの「分配金再投資基準価額」を用いて算出しています。
※　上記はあくまで過去の実績であり、将来の投資成果を示唆・保証するものではありません。

＜各マザーファンドの推移＞

（期間：2026年5月15日～10月30日、日次）



※　上記はあくまで過去の実績であり、将来の投資成果を示唆・保証するものではありません。

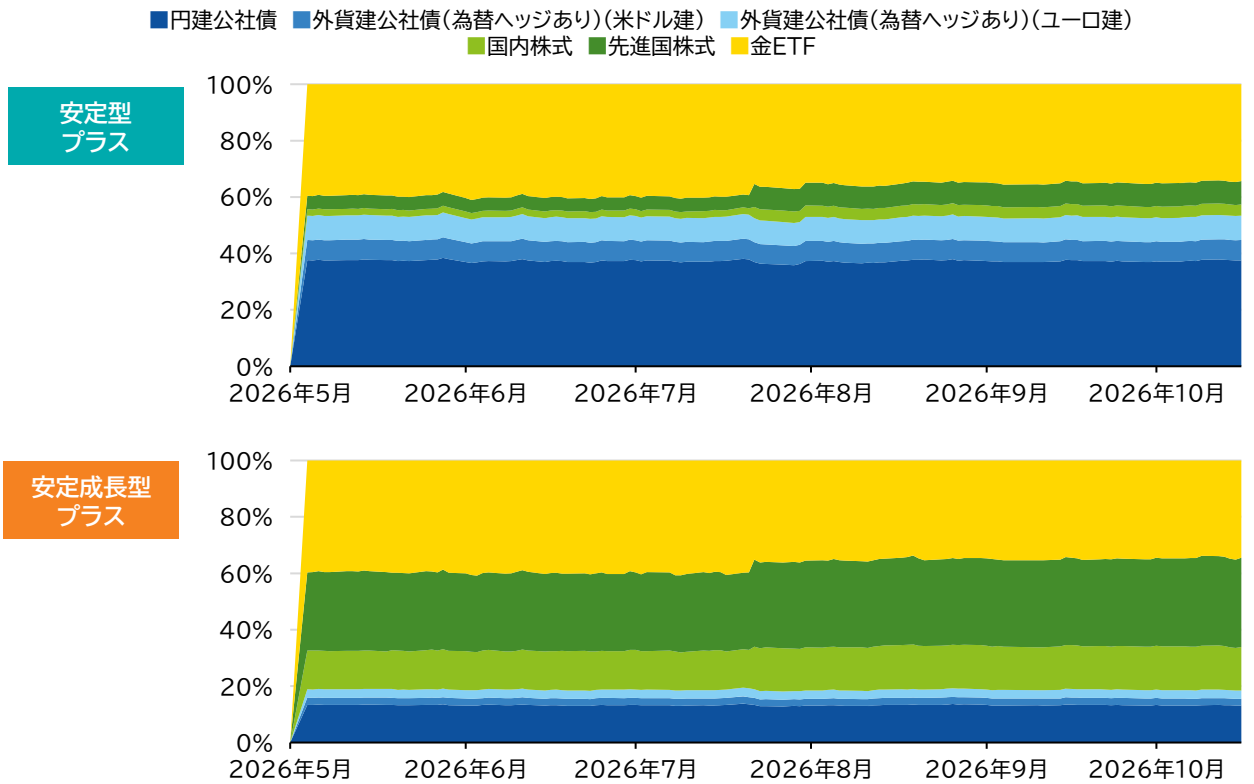
資産配分について

- 当ファンドでは、過去のデータを用いて作成した数万通りのシナリオから、目標リターンからの下振れが最も小さくなるようなポートフォリオを基本的資産配分として年1回策定しています。各資産の配分比率は、基本的資産配分をベースとしつつ、市場環境に応じて適時見直しています。
- 金は株式とは異なる値動きをしやすいという特徴があり、株式市場が大きく調整する局面では相対的に底堅く推移する傾向があります。足元では、株式市場が高値圏で推移していることから、株式の配分を基本的資産配分対比で抑制し、金の配分を相対的に高めに維持しています。
- 今後、株式市場の調整等により資産間の相対的な投資魅力度に変化が見られる場合には、株式比率の引き上げも含め、資産配分を見直していく方針です。

※　作成時点の判断を示したものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。

＜資産別構成比率の推移＞

（期間：2026年5月15日（設定日）～10月30日、日次）



※　上記はファンドの純資産総額に対する各マザーファンドの組入比率について、現金等を除いた合計を100%として表示しています。
※　あくまで過去の実績であり、将来の投資成果を示唆・保証するものではありません。

今後の運用方針

- 金融市場の動向を踏まえ、各資産の特性やリスク・リターン、下振れリスクに配慮しながら資産配分を行い、運用目標の実現に向けて取り組んでまいります。
- 当ファンドでは、インカム収益の獲得を重視した高配当株式や、満期を分散したラダー型運用による幅広い年限の債券に加え、株式とは異なる値動きをしやすい金を組み入れることで、収益源泉や価格変動特性の分散を図ります。また、基本的資産配分比率を軸にしつつ、市場動向に応じて資産配分の見直しを適時行うことで、安定した収益の確保と信託財産の中長期的な成長に努めてまいります。

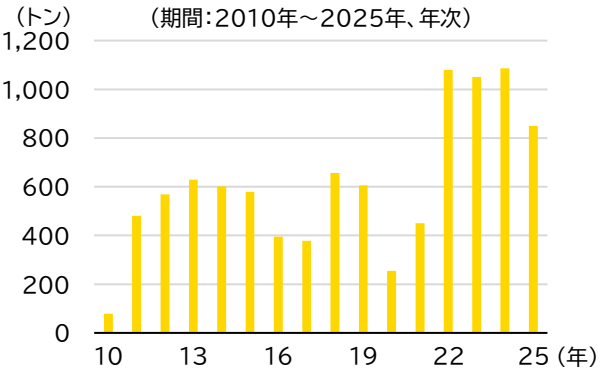
※　作成時点の判断を示したものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。

【ご参考】プレミアムバランスの魅力を再発見！

＜金＞の組み入れについて

- 金は世界の基軸通貨である米ドルの代替資産とみなされています。
- 近年は特に、米国の資産および米ドルの信用力低下への懸念等から、無国籍資産である金への注目が高まっており、新興国の中央銀行を中心に金の保有を増加させる動きが見られます。
- 足元では米国経済が堅調に拡大する中でインフレは高止まりを続けているため、FRB(米連邦準備制度理事会)が追加利上げを実施するとの見方は強く残っており、金価格の下押し要因となっていますが、中央銀行による継続的な需要は金市場を需給面から下支えする要因として期待されます。

世界の中央銀行等による金の購入量



出所:ワールド ゴールド カウンシル「ゴールド・デマンド・トレンド:2026年第3四半期」のデータをもとにりそなアセットマネジメントが作成。

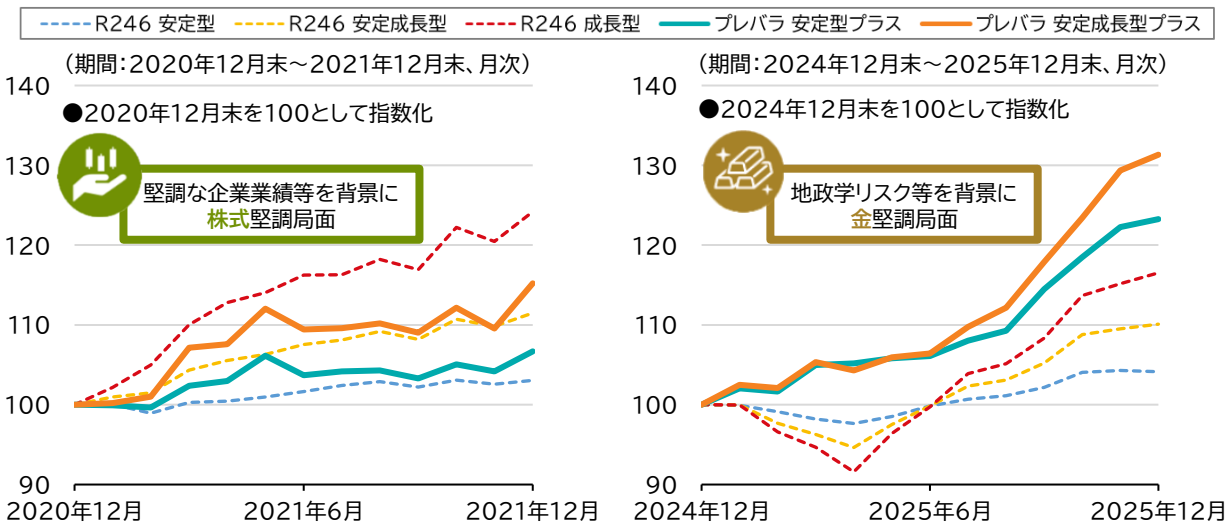
※ 上記は、世界の中央銀行等が今後も金を購入し続けることを示唆・保証するものではありません。

りそなラップ型ファンド【愛称:R246】との比較

- R246は、世界各国の債券、株式およびリートなどの資産に分散投資するファンドであり、各資産クラスを代表するインデックスに連動する動きを目指すマザーファンドに投資しています(詳細は最終ページ掲載の二次元バーコードのリンク先をご覧ください)。
- 一方、プレミアムバランスは、投資環境の変化に比較的左右されにくい資産とされる「金」「高配当利回り株式」「投資適格公社債」へ投資しています。
- R246とプレミアムバランスの組入資産を整理すると、以下の通りです。一般的にそれぞれの資産が強みを発揮する局面は異なる傾向があり、併せて保有することで一層の分散投資効果が期待できます。

R246	国内債券 / 先進国債券 / 国内株式 / 先進国株式 / 新興国株式 / 新興国債券 / 国内リート / 先進国リート
プレミアムバランス	円建公社債 / 外貨建公社債 / 高配当 国内株式 / 高配当 先進国株式 / 金ETF

＜運用シミュレーション＞



出所:ブルームバーグのデータをもとにりそなアセットマネジメントが作成。
※ R246は実績値を、プレバラ(プレミアムバランス)はシミュレーションデータを使用しています。詳細はP5をご参照ください。
※ 上記は将来の投資成果を示唆・保証するものではありません。

販売会社（お申込み・投資信託説明書（交付目論見書）のご請求は、以下の販売会社へお申し出ください。）

商号（50音順）	登録番号等	日本証券業協会	一般社団法人資産運用業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
株式会社埼玉りそな銀行	登録金融機関　関東財務局長（登金）第593号	○		○	
株式会社りそな銀行	登録金融機関　近畿財務局長（登金）第3号	○	○	○	

P4　運用シミュレーションについて

※ 「プレバラ」（プレミアムバランス）の数値は、各グラフの期間にファンドが存在していたと仮定した上で、2026年1月試算の基本的資産配分で投資したものとみなし、市場動向に応じた適時の見直しを加えて算出したバックテストデータを使用しています。運用管理費用（信託報酬）相当を控除し算出していますが、その他発生する費用・税金等については考慮していません。

【使用したデータについて】
ファンドが投資するRM円建グローバル公社債マザーファンド、RM米ドル建公社債0-10年ラダー型マザーファンド（為替ヘッジあり）、RMユーロ建公社債0-10年ラダー型マザーファンド（為替ヘッジあり）およびRMゴールドマザーファンド（為替ヘッジなし）は、対象指数を設けていないため、それぞれのマザーファンドの投資対象と運用手法に基づいて、ブルームバーグ日本投資適格社債（3-5年）インデックス、ブルームバーグ米国投資適格社債（1-10年）インデックス（円ヘッジ・円ベース）、ブルームバーグ・ユーロ投資適格社債（1-10年）インデックス（円ヘッジ・円ベース）および米ドル建金スポット価格（円換算ベース）を使用しています。その他の指数については、各マザーファンドが投資対象とする以下の指数を使用しています。RM国内株式高配当インデックスマザーファンド：MSCIジャパン高配当利回り指数（配当込み）、RM先進国株式高配当インデックスマザーファンド：MSCI-KOKUSAI高配当利回り指数（配当込み、円換算ベース）

※ 「R246」の数値は、基準価額（1万口当たり、運用管理費用（信託報酬）控除後）を使用して算出しています。

目標リターン等についての留意事項

※ 「目標リターン」とは、必ず一定の収益を得ることのできる運用を意味するものではなく、記載されている目標リターンの数値は、その達成を示唆・保証するものではありません。したがって、投資者の元本が保証されるものではなく、各ファンドの基準価額は下落することがあります。
※ 目標リターンは、運用管理費用（信託報酬）控除後のものです。その他発生する費用につきましては考慮していません。
※ 目標リターンに記載している短期金利は、無担保コールO／N物レート（確報）のことを指します。
※ 目標リターンは、5年から10年程度の中長期的な期間、運用することを想定して設定しています。
※ 各マザーファンドへの投資配分比率は、5年から10年程度の目標リターンの追求および各ファンド全体の下方リスク水準の低減を目指して決定するとともに、投資環境に応じて変更します。

各マザーファンドが対象とする指数の著作権等について

● RM国内株式高配当インデックスマザーファンド
「MSCIジャパン高配当利回り指数（配当込み）」は、MSCI Inc.が開発した、日本の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものであり、指数に関する著作権、知的財産権その他の権利はMSCI Inc.に帰属します。

● RM先進国株式高配当インデックスマザーファンド
「MSCI-KOKUSAI高配当利回り指数（配当込み、円換算ベース）」は、MSCI-KOKUSAI高配当利回り指数（米ドルベース）をもとに委託会社が円換算して計算したものです。MSCI-KOKUSAI高配当利回り指数（米ドルベース）は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものであり、指数に関する著作権、知的財産権その他の権利はMSCI Inc.に帰属します。

＜当資料についての留意事項＞

当資料は、りそなアセットマネジメント株式会社が作成した販売用資料です。お申込みにあたっては、投資信託説明書（交付目論見書）および「目論見書補完書面」等を一体として販売会社よりお渡ししますので、必ず内容をご確認の上、ご自身でご判断ください。

- ファンドのリスクおよび費用：
  投資信託をご購入いただく際には、元本損失が生じるおそれを含む各種リスクが存在するほか、所定の手数料等その他の費用がかかります。これらの手数料やリスクの詳細につきましては、二次元バーコードのリンク先にてご確認いただけます。なお、二次元バーコードが読み取れない場合は、投資信託説明書（交付目論見書）を販売会社よりお渡しします。
- 当資料は、当社が信頼できると判断した情報をもとに作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。
- 運用実績および市場環境の分析等の記載内容は過去の実績および将来の予測であり、将来の運用成果および市場環境等を示唆・保証するものではありません。また、将来の市場環境の変動等により、運用方針が変更される場合があります。
- 当資料に指数・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権、その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料の記載内容は作成時点のものであり、今後予告なく変更される場合があります。

リスクおよび費用のほか、ファンドの詳細は当社HPをご覧ください。

安定型プラス

https://www.resona-am.co.jp/fund/120073/

安定成長型プラス

https://www.resona-am.co.jp/fund/120074/

（ご参考）りそなラップ型ファンド【愛称：R246】

安定型

https://www.resona-am.co.jp/fund/120001/

安定成長型

https://www.resona-am.co.jp/fund/120002/

成長型

https://www.resona-am.co.jp/fund/120003/

りそなアセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者　関東財務局長（金商）第2858号
加入協会：一般社団法人資産運用業協会
ファンドの運用の指図を行います。
お問い合わせ：0120-223351（営業日の午前9時～午後5時）
ホームページ：https://www.resona-am.co.jp/